

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●中山競馬史上最高払戻金記録が更新される

9月21日(祝・月)の4回中山5日・第1レースでは、単勝11番人気のアリオダンスが1着、9番人気のロッジボールパインが2着、15番人気のシゲルナガイワシが3着に入り、3連単4-14-5の払戻金は2792万9360円(2730通り中2643番人気/的中3票)となりました。これは中山競馬史上最高払戻金で、3連単におけるJRA史上2番目の高額払戻金となります。

●内田博幸騎手がJRA通算900勝を達成

9月19日(土)の4回中山3日・第7レースではコンチャフランメンカが1着となり、同馬に騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、中央競馬史上37人目、現役では15人目となるJRA通算900勝(7187戦目)を達成しました。

●田所秀孝調教師がJRA通算300勝を達成

9月19日(土)の4回阪神3日・第1レースではコパノアラジンが1着となり、同馬を管理する田所秀孝調教師(栗東)は、現役69人目となるJRA通算300勝(4867戦目)を達成しました。

●松田国英調教師がJRA通算500勝を達成

9月20日(日)の4回阪神4日・第5レースではスマートオーディンが1着となり、同馬を管理する松田国英調教師(栗東)は、現役23人目となるJRA通算500勝(4117戦目)を達成しました。

●キズナが引退、クロスクリーガーが死亡

2013年日本ダービー(GI)勝ち馬で、同年のJRA賞最優秀3歳牡馬に選出されたキズナ(牡5歳/栗東・佐々木晶三厩舎)は、右前脛部浅屈腱炎を発症していたことが判明し、9月24日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績12戦6勝・海外2戦1勝で、今後は種牡馬となる予定ですが繋養先は未定です。2015年兵庫チャンピオンシップ(園田・JpnII)、2015年レパードS(GIII)の勝ち馬クロスクリーガー(牡3歳/栗東・庄野靖志厩舎)は、9月21日(祝・月)にX大腸炎のため死亡し、同日付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績6戦4勝・地方2戦1勝でした。

●ジョッキーベイビーズ東海地区代表が決定

9月13日(日)におこなわれた「感謝祭 in 中京競馬場」において第7回ジョッキーベイビーズの東海地区代表決定戦が実施され、吉田彩音さん(中学1年生・水口乗馬クラブ)が地区代表に選出されました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●レーザーバレットがオーバルスプリント(浦和)で重賞初制覇

テレ玉杯オーバルスプリント(JpnIII、9月23日、浦和、1400m)は、中団から追いつけた2番人気のレーザーバレット(戸崎圭太騎手、牡7歳、父ブライアンズタイム)が、逃げ粘るルベージェドランジェをゴール前で差し切って優勝。単勝1.8倍で1番人気のタガノトネルは3着、3番人気のサウンドガガは4着でした。

●盛岡芝重賞は地元の伏兵ソロフライト【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月20日、盛岡、芝1600m)は、好位から直線入口で先頭に立った10番人気のソロフライト(牝、父ミスキャスト)が、単勝1.9倍で断然人気の北海道からの遠征馬キープンチャーの追撃をアタマ差退け、デビュー戦に続く2連勝を達成しました。

●ダノンレジェンドが有力、9月30日の東京盃(大井)

東京盃(JpnII、9月30日、大井、1200m)は、ダノンレジェンドが中心、以下シゲルカガ、コーリンベリー、タガノジンガロ(兵庫)、ドリームバレンチノ、アメージングタクトの順に有力視されます。

●10月1日のレディスプレリユードにはサンビスタが登場

レディスプレリユード(JpnII、10月1日、大井、1800m)は、アムールブリエ、サンビスタ、トロワボヌールの三つ巴の戦いとなることが予想され、ホワイトフーガ、ソーミラキュラス(大井)、ブルーチップ(大井)、アーバンレジェンドまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●英セントレジャー異議申し立て、2着降着馬の逆転勝利が確定

世界最古のクラシックレースとして知られるセントレジャー(G1、芝14⁰⁰/₁₃₂フ)は9月12日にドンカスター競馬場で行われ、4番人気のシンプルヴァーズが馬群をこじ開けるようにして末脚を伸ばし、連れて伸びた外のボンダイビーチをアタマ差に抑えて1位入線しました。しかし残り400mと100mの地点で2度、2位入線馬の進路を妨害したとして、2着降着とされ、ボンダイビーチの繰り上げ優勝とされました。これに不服の降着馬関係者の異議申し立てにより、英国競馬統括機構(BHA)のロンドンの本部で9月23日に上訴審が開かれ、降着に値するほどの妨害行為はなかったとして、到達順位通り、シンプルヴァーズ(牝3歳、父デュークオブマーメレード)を優勝馬とすることで決着しました。これで7戦4勝、G1初勝利。勝利騎手A.アツェーニ、調教師R.ベケット、馬主のカタールレーシングは5万円(約920万円)の追加登録料を支払っていました。牝馬の優勝は23年ぶり。降着のあと優勝が認められたのは英国クラシックで初めてのこと。